社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告 坂井宏光

1. ビオトープ活動~ 平成 25 年度第 29 回夏の里山・ビオトープ自然観察会を 7月 13日(土)に開催し、参加者は 50人(内、地域住民 9人、山口大学「ホタユニの会」学生 4人、本学学生 37人)でした。ビオトープ周辺の夏の虫たちを捕獲し、観察しました。特に、チョウトンボは殆どの参加者が初めて見る昆虫で、興味津々でした。また、第 30 回秋の自然観察会を 10月 12日(土)に開催し、参加者は 35人(地域住民 2人、学生 33人)でした。里山・ビオトープ周辺で収穫したクサギの実やセイタカアワダチソウ等で木綿の草木染めに挑戦し、思い思いの絞り染め等をして楽しみました。次回、第 31 回冬の自然観察会は 12月7日(土)に開催される予定で、かご編み体験学習がテーマです。







2. 福工大前商店会活性化プロジェクト (P) ~ 学部ゼミ活動の一環として、平成 21 年 10 月から福工大前商店会の活性化 P に取り組んでいます。平成 24 年度から「緑のカーテンや花いっぱいの景観などで環境配慮の街づくり」をテーマに企画・実施しています。5月 18 日に商店会の皆様と学生が協力して緑のカーテンをづくりや季節の花を沢山植える活動を実施しました。昨年は誠文社、イチリキ、力、新宮村の 4 店舗が中心でしたが、今年は徐々に増えて 25 店舗のご参加を得て展開しています。アサガオやユウガオ、センナリビョウタン等が暑さに負けずしっかり成長し、潤いある美しい景観が創出されました。今年は特に暑く、水やりがとても大変だったようです。また、10月 23 日の商店会会議で今後の展開等を話し合いました。11 月中旬に秋の植え替えを行う予定です。







平成25年8月8日撮影(左2枚・誠文社と右1枚・イチリキ)